

# 民主クラブ

松尾 省勝・岩田 薫・佐々木修司  
橋本 智子・小山 征三

## 一般質問

岩田 薫議員

★情報の管理では、新型コロナウイルス感染症について多岐にわたる情報処理の方法と、大臣などの発言から市民が混乱したことを指摘し、今後しっかりと検証することを求めました。

★医療体制については、市立病院の医療従事者の体制を確立することおよび、財政支援について国や道に求めるよう要望しました。

★報告に対する質疑では、市が行った新型コロナウイルス



## 《補正予算質疑》

松尾省勝議員

★市民およびバス運転士への感染リスク低減を図るための市内路線バス運転席周辺への防護スクリーン設置支援について、道内外からの移動者も多いことから、都市間高速バスについても、対象とすべきと指摘をしました。

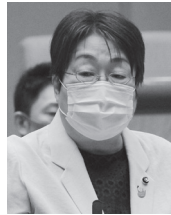
市側は、事業者との協議を進め、適切な判断をするとの見解を示し

ル感染症対策の補正予算が、2回にわたり議会を開催せず専決で行ったことについて、議会で審議し検証を行い今後に生かすべきと求めたことに対し、市側からは、次期補正予算は臨時議会を開催するとの答弁がありました。

橋本智子議員

★新型コロナウイルス感染症に関連してごみ収集時の作業員への感染症対策と、マスクなどの廃棄方法の市民周知について質問しました。

市側は苦小牧廃棄物協同組合と協議を



ました。

★新型コロナウイルスの影響で売上が減少している事業者に市が独自で持続化支援金を支給することが決まりましたが、10万円の支給を進めるにあたり、事業者が利用しやすい条件緩和や周知の工夫を進め、使いやすい制度にすべきと指摘をしました。



行っており、市民向けにはホームページや新聞などを活用し、周知したと答弁がありました。

★再開した学校教育現場の感染症対策と課外活動について質問し、スポーツ大会や文科系クラブの発表の場の確保を要望しました。

★社会教育施設での新しい生活様式の下での生涯教育のあり方について、図書の消毒や「おうちミュージウム」などの取り組みの継続を求めました。

佐々木修司議員

★新型コロナウイルス感染症による市民生活への影響については、①自粛中の町内会運営と活動②民

## 《総合開発特別委員会質疑》

小山征三議員

苦小牧国際リゾート構想環境調査結果報告書が提出



されました。予算提案時、市側は「データに基づき客観的な評価をする」としていましたが、報告書には、開発に対する市の前向きな考え方が含まれ、客観的とは言い

生委員の活動について、市の対応と支援を質問しました。

★苦小牧国際交流拠点構想実施計画の策定については、計画策定業務の受託者を決める公募手続きが、新型コロナウイルス感染症拡大の真ただ中であつた3月16日に行われていたため、コロナ禍の収束状況を見極めながら行われるべきであつたこと、また、公募時期を遅らせることにより公募への参加者が増え、より広い選択肢を持てた可能性があつたことを指摘しました。



難しいと指摘しました。また、今、優先すべき課題は①新型コロナウイルス感染症に対する今後の備え③市内の小企業支援であり、訪日外国人旅行者需要の回復はその後であることからR議論の当面凍結を求めました。岩倉市長は「こつこつ時だからこそいろんな議論をやつていくべき」とし、凍結する考えは「0%」と述べました。